

【会議録】

会 議 名	令和7年度第1回港区地域包括支援センター運営協議会
開 催 日 時	令和7年7月24日（木）19時00分から20時30分まで
開 催 場 所	港区立介護予防総合センター ラクっちゃ 研修室
委 員	出席者 11名 和気会長、田中副会長、菰池委員、谷村委員、兼松委員、柏委員、 高木委員、川名委員、古屋委員、土屋委員、小松谷委員 欠席者 1名 長谷川委員
高齢者相談センター（地域包括支援センター）	麻布地区を除き管理者 （麻布地区は管理者代理、高輪地区は管理者及び地域包括ケア事業本部長）
事 務 局	高齢者支援課長、高齢者支援課高齢者相談支援係長、他3人
会 議 次 第 配 付 資 料	1 開会 （1）高齢者支援課長挨拶 （2）委嘱状の交付 （3）委員、事務局紹介 （4）会長の選出、副会長の指名 2 議題 （1）審議事項 令和6年度高齢者相談センター事業報告及び事業評価について（案） （2）報告事項 令和6年度高齢者相談センター地区地域ケア会議について（報告） （3）その他 3 連絡事項 4 閉会
	資料1 令和6年度 芝地区高齢者相談センター事業報告 資料1－2 令和6年度 麻布地区高齢者相談センター事業報告 資料1－3 令和6年度 赤坂地区高齢者相談センター事業報告 資料1－4 令和6年度 高輪地区高齢者相談センター事業報告 資料1－5 令和6年度 芝浦港南地区高齢者相談センター事業報告 資料2 令和6年度 事業評価の実施について 資料3 令和6年度 芝地区高齢者相談センター事業評価チェックシート（案） 資料3－2 令和6年度 麻布地区高齢者相談センター事業評価チェックシート（案） 資料3－3 令和6年度 赤坂地区高齢者相談センター事業評価チェックシート（案） 資料3－4 令和6年度 高輪地区高齢者相談センター事業評価チェックシート（案） 資料3－5 令和6年度 芝浦港南地区高齢者相談センター事業評価チェックシート（案） 資料4 令和6年度 高齢者相談センター地区地域ケア会議について（報告） 資料5 港区地域包括支援センター運営協議会設置要綱 資料6 港区地域包括支援センター運営協議会委員名簿

会議の結果及び主な発言	
(発言者)	<p>1 開会</p> <p>(1) 高齢者支援課長挨拶</p> <p>(2) 委嘱状の交付</p> <p>(3) 委員、事務局紹介</p> <p>(4) 会長の選出、副会長の指名 高木委員が和気委員を会長に推薦。 拍手多数により、和気委員が選出された。 和気会長が田中委員を副会長に指名。田中委員が承諾した。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 審議事項 令和6年度高齢者相談センター事業報告及び事業評価について 各地区高齢者相談センター（以下「センター」という。）から、資料1から1－5について報告。 事務局から、資料2及び資料3から3－5について説明。 その後、後述の質疑応答があり、事務局からの評価案を、港区地域包括支援センター運営協議会の最終評価として一同の拍手により承認された。</p>
委員	高輪地区の運営体制について、ベテランと経験の浅い職員のバランスを考慮し、3チームに分けているという話があったが、年齢と経験は関連しているのか。
高輪地区センター	管理者を含むリーダーのもと3チーム編成とし、少人数により、質問のしやすい環境を整えている。それぞれの経験年数により課題が異なるため、経験の浅い新人職員を集めたチーム、中堅チームと経験年数を考慮したチーム編成としている。
委員	それによって離職は減少したか。
高輪地区センター	離職の減少に加えて、チーム内に限らず、誰にでも質問のしやすい環境づくりができていると捉えている。
会長	3職種のうち退職が多いのはどの職種か。報告の中で、退職者が多いことを理由にB評価をつけているところがある。特定の職種が多く退職しているということがあれば伺いたい。社会福祉士の養成をしている者として我々の教育効果はあるのか確認したい。
芝地区センター	令和6年度は、社会福祉士の退職が立て続けにあった。新人ではない。経験豊富な職員を採用したが、当該職員の考え方など、すり合わせをしている期間に意見の相違があり、退職となった。また、芝地区では、令和6年度当初はOJTの体制が整っておらず、年度途中からサポートする体制を作った。令和7年度はそれを活かして、一つひとつ改善に向けて取り組んでいる。

会長	人材の争奪が起こっているか。
芝地区センター	争奪が起こっているというよりは、理念や信念のすり合わせがうまく調整ができない場面が多かったという印象を持っている。
会長	<p>現在、社会福祉士の合格率が上がり、社会に送り出しているため、活躍してくれることを望んでいる。現場に出てから、価値観が合わない状況はいかななものかと考えるため、教育に当たる側としては責任を感じる。</p> <p>高輪地区で、「総合相談件数が減少したのは、システム上の問題」と聞こえたが間違いはないか。</p>
高輪地区センター	システム上の問題ではなく、職員の認識に誤りがあり、本来、計上すべきものを行っていなかったためである。
会長	それは新人職員か。
高輪地区センター	新人職員で、継続した指導等ができていなかった。
会長	多忙なため、時間をかけて新人教育ができなかったということか。
高輪地区センター	虐待の対応に追われ、新人教育まで行き届かなかったというのが現状である。
会長	センターに対する区の後方支援が重要である。仕事が増え続け、マネジメントができなくなることによってこのようなことが発生するため、センターがパフォーマンスを発揮できるようにサポート体制を整える必要がある。これは港区のみならず、東京都全体で抱えている問題である。
会長	芝地区の江戸カフェは、男性の集まりも多く、良い取組である。人気の理由は何か。また、在勤者の参加者が多いのか。
芝地区センター	在勤者や芝地区以外の参加者が多く、定員４０名のところ、５０名を超える参加者となっている。認知症の方や、江戸カフェだけはぜひ参加したいという方、区外から参加している方もいる。可能な限り皆さんの通いの場、生きがいの場を大切にしたいので、今まで登録されている方は継続して受け入れる方向で考えている。また、区外で参加希望の新規の方には、現在の登録者数が非常に多いことから、対応を検討している。なお、遠方の方では、千葉県幕張から来る参加者もいる。
会長	男性高齢者の社会的孤立が課題となっているため、男性のため通いの場、生きがいの場をぜひ継続してもらいたい。

	<p>(2) 報告事項</p> <p>令和6年度高齢者相談センター地区地域ケア会議について 事務局から資料4について説明。</p>
委員	<p>薬局が「地域支援体制加算」を算定するためには、多職種と連携する地域ケア会議の出席が要件の一つになっており、その点を理解してもらっている。引き続きの協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p>薬局・薬剤師の方をはじめ、その他関係者の方とも引き続き連携を強化したいと考えている。</p>
会長	<p>地区地域ケア会議の参加者で、介護事業者とあるが具体的にはどういうところを指しているのか。</p>
事務局	<p>ヘルパー事業者や訪問看護事業者、デイサービスなどである。</p>
会長	<p>重層的支援体制整備事業（以下「重層」という。）を活用していくとあるが、どういう意味か。</p>
事務局	<p>重層の実施に当たっては、港区保健福祉課が港区社会福祉協議会（以下「社協」という。）に支援業務を委託している。例えば、8050 問題で息子（50 代）に障害がある場合、高齢・障害部門のどちらがイニシアチブをとるのかなど、話が平行線になることがあった。</p> <p>重層の活用によって、社協がイニシアチブをとるようになったため、重層を活用していくという表現をした。</p>
会長	<p>8050 問題、場合によっては 805020 問題というものもある。様々な課題がある方たちを支援するためには縦割りでは対応できないため、横串を指す必要がある。そのために包括的な支援体制づくりが推進された。また、当該窓口を本庁に作り、その後、ブランチを作っていくというのが全国的な流れである。港区の現状について、説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>港区の場合、令和4年8月に福祉総合窓口を設置し、当該窓口センター職員を配置している。当該窓口が、高齢、障害、子どもなど様々な福祉に関する総合相談を受けており、5地区総合支所にそれぞれ設置している。重層を始める前から、福祉総合窓口を設置し、令和6年度は、試行実施というかたちで重層の対象者を抽出し、その対象者に対してどのようなアプローチをしていけばいいのか検討してきた状況である。重層は、守秘義務を課した上で、様々な個人情報を網羅的に全職種が共有できるという強みがある。そのため、複数にわたる課題は、重層で対応していくものと考えている。</p>
会長	<p>本庁舎には福祉総合窓口はないのか。</p>

事務局	区役所の１階に芝地区総合支所があり、福祉総合窓口を設置している。
会長	本部があって、支部があるというイメージか。
事務局	福祉総合窓口の所管課は、保健福祉課である。各地区総合支所の福祉総合窓口がそれぞれ現場対応に当たっている。
会長	どのような職員が福祉総合窓口にいるのか。
事務局	区民課保健福祉係職員をはじめ、保健師など専門職（会計年度任用職員）がいる。
会長	懸念していることとして、総合相談は、ベテランの職員ではないと受けられないのではないか。 センター本体の機能が手薄になる話はよく聞き、これは高齢部門だけではなく障害部門も同様である。港区はそういった課題はみられないのか。
事務局	現場からも同様の意見は出ており、田中副会長からも意見等をもらっている。 なお、福祉総合窓口を開設するにあたり、センター職員を１名ずつ増員した経緯がある。
会長	港区だけを責めるわけではないが、ただでさえ人材がいない中、福祉相談窓口を運営するために職員を送り出すのは厳しいという印象を受けている。その補完をどうするのか。また、重層はアイデアとしては良いと思うが、現状をみると様々な課題があるという認識は持っておいた方が良い。
副会長	福祉総合窓口は、リモート相談も受け付けていると思うが、相談件数はどのような状況か。
事務局	具体的な相談件数は手元に資料がないため、回答はできないが、来庁による対面での相談が主である。
副会長	福祉総合窓口で職員を送り出すことの弊害について話を聞いたことがある。当該窓口が円滑に稼働するよう一層の工夫をお願いしたい。当該窓口が設置された当初、「ワンストップ」を掲げていたが、各地区によって運用が異なるのか、課題があるように感じる。 令和６年度第３回港区地域包括支援センター運営協議会で地域ケア会議における民生委員の参加が少ないのではないかという話があったが、以降、呼ばれるようになり、そこで感じたのは詐欺が非常に多く、相談相手がいらないのか疑問に思う。区民にとっては、区役所やセンターはハードルが高いため、民生委員としてもう少し寄り添えることがあったのではないかと振り返る。高輪地区では、高輪警察署が協力的で、国際電話からの詐欺がとて多いため、国際電話を休止する申込書を持っ

会長	<p>ていけば迅速に止めてくれる。詐欺のことを通じて、より密な関係機関との連携体制の充実を望む。また、東京都民生児童委員連合会の場においても警視庁から注意喚起をしてくださいと言われている。年度の途中で前年度の被害総額を超えているとの話があった。</p> <p>福祉総合窓口の総合相談機能に加えて、権利擁護機能の充実も求める。港区では、重層を令和7年度から始めたということだが、地域の拠点がしっかりあって、何があってもそこで相談を受け付け、次へつなげていくのが包括的な支援体制だと思うので、社協に委託しているのであれば、各地区に拠点を置く必要があると思う。</p> <p>重層を活用していくとあったため、具体的にどうしていくのか所管課である保健福祉課と連携していく必要がある。</p> <p>なお、全国的にみると、重層をセンターに委託する自治体と、生活支援体制整備を行っている社協に委託する自治体の両方がある。</p> <p>(3) その他 特になし。</p> <p>3 連絡事項 第2回港区地域包括支援センター運営協議会の日程について場所は未定だが、11月20日(木)の19時からとなった。</p> <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----	---